

IPNU

キャンパスネット

INDEX

- 1 夏のオープンキャンパス
- 2 大学の主な動き
平成30年度入学式
新任教員紹介
- 3 開学記念行事
海外招聘事業
- 4 在校生記事
- 5 卒業生記事

6 NEWS

- 附属図書館より
- 地域ケア総合センターより
- 看護キャリア支援センターより
- 7 平成30年度 北信がんプロの活動状況
石川県立大学との合同事業
「能登・祭りの環」インターンシップ事業
- 8 第39回日本看護科学学会学術集会
大学祭開催
キャンパススケジュール(後期)



夏のオープンキャンパス

学生がサポート！ 高校生・保護者等386名参加

夏のオープンキャンパスを7月14日(土)に開催しました。学生達は「私達のことをもっと知ってもらいたい」、「高校生の聞きたいことにちゃんと答えたい」と頑張って準備していました。当日は大変暑く、学生は緊張気味でしたが笑顔でお迎えすることをみんなで心がけていました。

参加者からは「とても優しく丁寧に教えてもらえた」、「みんな明るくて楽しそう」、「大変そうだけど充実してる」、「看護の魅力が伝わってきた」との感想が聞かれました。また「ここの海外研修に行きたい」、「ここで勉強して助産師になりたい」と、明確な目標を持てた参加者も多く見受けられました。参加者の役に立ちたいという学生の思いは伝わったようです。

秋のオープンキャンパスは10月27日(土)に開催し、「入試準備セミナー」を実施する予定です。大学祭も同時開催します。



相談コーナー

もっと高校生の相談にのりたいと昨年より席を増加しました。華サークルは、「少しでも相談しやすい雰囲気」とお花を提供してくれました。「話を聞いてくれた」「とても詳しく教えてくれて参考にになった」という感想が多く、緊張の出会い、気づけばお互いが笑顔で充実したものになったようです。



看護学体験

このプログラムは看護の魅力が伝わるようにと企画しています。「高校生に見てもらおうからしっかりしないと学生達は授業以上の(?)気合いが入っていました。参加者からは「強い興味を持ってたし看護師になりたいと改めて思った。」「少しだけど看護の仕事が体験できて嬉しかった。」と関心が高まったようです。



模擬授業、キャンパスライフ

模擬授業では、多くの高校生が大学での授業の雰囲気を感じつつ真剣に聴いていました。学生によるキャンパスライフの紹介に、参加者からは「楽しい大学生活がイメージできた」「紹介してくれた先輩が素敵でした」との感想がありました。この大学で友だちと過ごすキャンパスライフをイメージしてもらえたようで嬉しく思います。

平成30年度 入学式



4月4日(水)、平成30年度の入学式を本学講堂にて挙行之、看護学部生83名、ならびに、今年度から開設された助産師課程の5名を含む大学院生13名が入学を許可されました。石垣和子学長は式辞で、「自分基準」を高く設定し、「自律性・主体性をもって汗をかいて勉強すること、専門書は勿論のことそれ以外の沢山の読書をする事、そして遠慮せずに対等

な気持ちで大学に対する意見を述べる事」という助言と期待を述べ、「この大学をともに改革し、これからの21世紀の看護学を切り開こう!」とのメッセージが贈られました。さらに、谷本正憲石川県知事をはじめ来賓の皆様から激励のお言葉をいただき、本学の学生・大学院生としての決意を胸に、新たなスタートをきりました。

Nice to meet you

新任教員紹介

- ①出身地
- ②前任
- ③趣味
- ④モットー



多幡 明美
看護キャリア支援センター 講師

- ①石川県珠洲市
- ②石川県立高松病院(認知症病棟で15年間勤務していました)
- ③ガーデニング(土を触っているとリフレッシュできます)
- ④いつも笑顔を忘れずに!

認知症看護認定看護師教育課程の教員として、これまでの臨床経験を活かしながら履修生の修学が実りあるように精一杯支援して行きたいと思っています。



河合 美佳
母性看護学 助手

- ①石川県金沢市
- ②国立病院機構金沢医療センター
- ③温泉でのんびりすること
- ④為せば成る

学生のみさんと一緒に学びながら、私自身も成長できるようにがんばりたいと思います。まだ慣れないことも多く、いろいろとご迷惑をおかけするかとありますが、よろしくをお願いします。



今方 裕子
成人看護学 助教

- ①石川県金沢市
- ②国立病院機構金沢医療センター
- ③ヨガで体力と集中力を高めています。
- ④「なんくるないさ」困難なことがあっても前向きにその時々を楽しんでいきたいと思っています。

がん看護専門看護師として働いていました。臨床経験を講義や実習などに生かしつつ、教育、研究に一生懸命取り組んでいきたいです。



瀧澤 理穂
成人看護学 助教

- ①石川県河北郡
- ②石川県立看護大学大学院。それ以前は、金沢医科大学病院に勤務していました。
- ③食べ歩き、温泉旅行です。
- ④どんなことにも必ず意味がある。自分を信じて一歩ずつ進もう。

母校にて、学生とともに看護を学び深めていけることに喜びを感じています。未熟者ですが、信頼される教員を目指し、精一杯頑張ります。



寺井 梨恵子
基礎看護学 臨時助教

- ①富山県富山市
- ②石川県立看護大学 成人看護学
- ③バドミントン
- ④人生は「運・鈍・根」やなせたかし

何でも器用に簡単にできたらおもしろくありません。いくら「鈍」が必要ですが、苦勞した分、人生が楽しく感じます。また「根」気がなければ、「運」を掴み取ることはできないのです。「運・鈍・根」を体現し、伝えていきたいです。



竹田 昌代
地域ケア総合センター 特任講師

- ①石川県かほく市
- ②かほく市役所
- ③旅行(国内)、日帰り温泉巡り
- ④1つ1つコツコツの積み重ねを大切に

大学での勤務は初めてで戸惑うことも多いのですが、これまでの保健師経験を活かして、地域連携や後輩の育成支援ができればと思います。



濱鍛治 青水
がんプロ 特任助手

- ①石川県野々市市
- ②金沢城北病院
- ③寝ること、海外ドラマ、芝居、映画
- ④「果報は寝て待て」「人生万事塞翁が馬」

大学で過ごす限られた時間、与えられた機会を無駄にしないよう努力したいです。

平成30年度 開学記念行事



2000年の開学から19年目にあたる5月29日(火)、学生大会に続いて開学記念行事を本学講堂にて開催しました。第1部では、昨年度まで保健室で学生支援にご尽力をいただいた井上みなみ先生に感謝状が贈呈され、学内外での顕著な活動により茶道部が学長表彰を受けました。第2部では、「高度急性期医療の場での抑制しない看護へのチャレンジ」のタイトルで小藤幹恵先生(金沢大学附属病院 前副病院長/看護部長)にご講演いただきました。病院看護部を挙げて近年注目されているユマニチュードを实践された成果を豊富な実例を通してお話しください、学生から「医療者が患者に真摯に向き合うことで、身体抑制をゼロにできると分かりました」な



どの反響が数多くありました。第3部では、「自分を大切にしながら学び・働くには」をテーマに、さまざまな看護実践の現場で活躍する本学同窓生5名をお招きして全体交流会を行いました。学生から「自分も頑張ろうと前向きな気持ちになった」、「様々な分野の方から話を聞くことができ、進路の幅が広がった」等の感想が聞かれました。



海外招聘事業



アメリカ合衆国ワシントン州シアトル市にある看護学では名高いワシントン大学よりアーデイス・ドーレンボス教授を招聘することができませんでした。大学院の授業、英会話レッスン、研究指導、講演(教員向け、臨床・研究向け)と多くの内容を精力的に取り組んでくださいました。「多民族が共に健やかに生きる」ことを目指し「Mixed Methods



Approach」という研究手法を用いて看護を確立、世界に発信してきた先生は常に笑顔で優しくわかりやすく私達に語りかけてくれました。臨床・教育・研究、私たちはそれぞれの立場で新しく、深く、そして課題を見出す学びを得ることができたと思います。



1年生 林 美穂

1時限(大学では1コマといいますが)90分という授業、1人暮らし等の大学生活にも慣れてきました。4~7月の授業に、地域に出て人々の暮らしや仕事、生活文化、環境について理解を深める「フィールド実習」があります。私は、「地域の中で自分らしく生きる・子どもを育てる・まじわる意味」というテーマで、地域で食事を提供する子ども食堂を訪問しました。子どもたち・地域の方々との交流から、子ども食堂は地域の拠点作り・コミュニケーションの場であると学びました。大学生となり初めてのグループ討論は、不安や戸惑いが多くありました。しかし、仲間と協力して活動することで、仲間がいるからこそ「考え抜く」ことや、「やってみよう」と頑張れたと思います。



2年生 稲垣 遙

晴れてユニフォームを着ることができました！課題やテストも増え、学習内容はレベルアップしています。これから病院での実習があり不安も感じますが、仲間とともに切磋琢磨して充実した大学生活を送りたいと思います！私は広報委員会の学年リーダーとして、オープンキャンパスの事前準備や当日の運営をしました。他の学年の事も考えて運営するので大変なこともありました。しかし高校生の楽しそうな表情を見ると当日は大きな達成感が得られました。一緒に頑張る仲間や熱心に指導して下さる先生方、応援してくれる家族や地域の方々への感謝を忘れずにこれからも看護の学びを深めようと思います。



3年生 山原 萌葉

3年生は後期から始まる実習に向けて、日々授業や課題に取り組み学びを深めています。実習は患者さんへのケアやコミュニケーションを通して、これまで学んだことへの理解を深める場となります。今は自分自身の知識不足から、うまく患者さんと関わることが出来るだろうかと不安や緊張を感じていますが、患者さんと真摯に向き合い、その方にあった看護を行えるよう努力していきたいです。私は2年生の実習で、患者さんの望むことが最大限実現できるよう計画を立て、「ありがとう。」と言っていたことがとても印象に残っています。その経験を生かして、今回の実習では対象の特性をより深め何が今、必要とされているのかを判断し行動できるようになりたいです。



4年生 西 菜緒

4年生は、就職に向けてインターンシップや就職活動をしています。就職試験は緊張しますが、仲間とともに頑張っています。

夏休みから模擬試験や補習授業などを通して看護師、保健師国家試験に向けて勉強しています。範囲が広く大変ですが、わからないところは友達と一緒に勉強しています。

就職活動・国家試験の勉強に加えて、卒業研究も平行しておこなっています。研究テーマに沿って文献検討を行ったり、アンケートをとったり、実際に実験を行ったりしています。

授業は少ないですが、自分自身でスケジュールを立て、目標を達成することが求められます。素敵な春に向けてこれからも頑張っていきたいと思います。



大学院 古嶋 涼子

「ワシントン大学から高名な先生が来学される」と聞いた私たちは、どんな講義をされるのだろうか、英語も苦手なのに果たして理解できるのだろうかと大変な不安を感じました。

私たちの不安をよそに、先生は満面の笑顔と少し日本語を交えて講義をして下さいました。また、分かりやすい具体例を提示して、私たちの理解を確認しながら講義を進めて下さいました。さらに、多民族国家アメリカならではの社会的背景や人種ごとの文化的背景を踏まえた看護のあり方も熱意をもって話して下さいました。

先生の講義内容は私にとっては難解なところもありましたが、研究や臨床実践に向き合う姿勢は今後の自分たちの参考になると思います。



先輩看護師の村中さん(右、平成26年3月本学卒業)と木村さん(左)

看護師

木村 将太さん 石川県立中央病院

私はHCUという高度治療室で働いています。毎日わからないことばかりですが、先輩のサポートの下、たくさんのことを学んでいます。HCUでは手術後の患者さんから緊急入院される患者さんまで様々な患者さんがおられ、身体の状態を的確に把握するには慎重な観察が求められます。ついそれらに目がいきがちになりますが、患者さんやその家族の方は、緊張や不安を抱えて入室されます。知識だけでなく患者さんや家族の思いに気づき寄り添える看護師になれるようこれからも頑張っていきたいと思っています。

木村君は患者さんに対してとても親切丁寧に接するとともに、日々勉強に励み、知識や技術をどんどん吸収しています。これからの飛躍に期待しています。

先輩看護師から



先輩看護師の井ノ山さん(左)と立中さん(右)

助産師

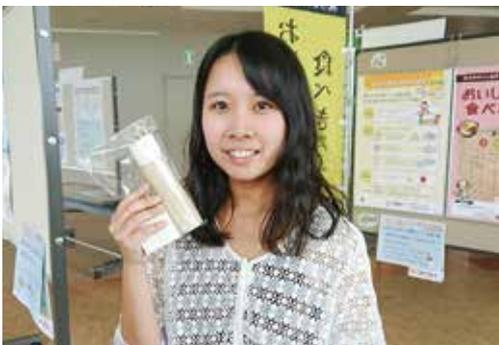
立中 由里子さん 金沢大学附属病院

卒業後、助産師を目指し金沢大学大学院に進学しました。4月からは金沢大学附属病院の産科病棟で働いています。優しい先輩方から丁寧なご指導をいただきながら、自立してできることが少しでも増えるように日々頑張っています。

母子の生命を預かる責任の重さから、不安や戸惑いを感じることもあります。しかし、「出産の時に一緒にいてくれて心強かった」という言葉や、母子が家族と共に笑顔で退院していく姿を見届けることにやりがいを感じています。これからも、母子と家族に寄り添う気持ちを大切にしながら、助産師としての技術や判断力を磨く努力をしていきたいと思っています。

立中さんは慣れない環境の中でも一人ひとり丁寧に患者さんと向き合い、患者さんに寄り添ったケアを提供できるように努力しています。

先輩看護師から



保健師

橋本 百合さん 能登町役場健康福祉課

私は保健師として、健康推進に関わる業務を行っています。今は町の公民館などで特定健診やがん検診を実施しています。保健師として働いてみて、ひとつの事業に様々な連携・準備が必要であることを実感しています。健診結果の説明や訪問など、住民の方と直接関わる機会が多い保健師の業務は、責任もありますがやりがいがあります。看護師も保健師も、対象の方の背景を見ながら関わるという点は共通していますが、保健師は「予防」の視点が看護師よりも必要です。なかなか上手くいきませんが、対象者の身体や気持ちの変化が見えた時は自分のことのように嬉しいです。働きかける難しさと楽しさを感じながら、住民の方に寄り添える保健師になれるよう成長していきたいと思っています。



養護教諭

星川 亜由美さん 輪島市立門前西小学校

私は現在養護教諭として、輪島市内の小規模校な小学校に勤めています。校舎からは、一面に広がる日本海と深緑の山々を見ることができます。初任校が決まり、初めて学校に行った日は、その美しい自然豊かな景色にとっても感動したのを覚えています。

子どもたちの健康を守り育てるのが養護教諭の仕事です。想定外のことが起きた日や理想通りにいかない日は、改めてこの仕事の難しさ、そして責任の重さを感じます。ですが、指導を通して、少しでも健康管理ができるようになったり、笑顔が増えたりする子どもを見ると、とても嬉しく、やりがいを感じます。

また、運動会など子どもと一緒に楽しめる学校行事では、準備や当日の怪我対応等大変に感じることもある反面、子どもの意外性や成長した姿を見ることができ、子どもと関わることの楽しさや素晴らしさも感じます。子どもが心もからだも元気で笑って過ごせるように、私には何ができるだろう…日々考えながら過ごしています。

附属図書館より

①出身地 ②前任 ③趣味 ④モットー

浅井 千鶴代 附属図書館嘱託 司書

9月より附属図書館に勤務しています司書の浅井千鶴代です。先輩の司書の皆さんに教わりながら、早く仕事を覚えたいと思います。前任の小学校の図書館とは全く違うので、まだ慣れないことも多くいろいろとご迷惑をおかけするかと思いますが、よろしくをお願いします。



- ①石川県鳳珠郡
- ②内灘町立向粟崎小学校図書館
- ③園芸、猫、読書
- ④感謝

利用者の皆様のご意見をお聞きし、ご協力をいただきながらより利用しやすい便利な図書館になるよう心掛けます。

地域ケア総合センターより



地域のニーズに沿った研修企画 「能登北部医療圏の 在宅療養移行支援を考える」

6月7日(木)、能登北部にある4病院(珠洲市総合病院、公立穴水総合病院、市立輪島病院、公立宇出津総合病院)の教育ニーズをふまえ、宇都宮宏子先生(在宅ケア移行支援研究所)を講師に招き、「この町で生き残りたいをかなえるために～在宅・地域協働で取り組む退院支援～」をテーマに研修会を開催しました。能登北部の医療職の方々が多く参加できるようにキャッスル真名井(穴水町)を会場とし、約120名が参加しました。講師は何度も「患者さんはどう生きていかのか」という問いを投げかけ、一人ひとりが臨床現場であらたに「患者の意向に添う看護」を行っていくという意気込みを感じました。

看護キャリア支援センターより

認知症看護認定看護師
教育課程第二期生が履修しています。
[第一期生33名が認定審査に全員合格!]

7月4日(水)、認知症看護認定看護師教育課程第二期生31名が入学しました。来年2月までの約8ヶ月間に、これまでの経験を振り返りながら、計630時間の専門的な講義・演習・臨地実習を受講し、認定看護師の資格を目指します。今年度新たに有資格者となった第一期生33名に続けと、結束力を高め、助け合いながら熱心に学びを深めています。関係機関の皆様、ご協力とご支援をよろしくお願いいたします。



認知症看護認定看護師認定審査に全員合格した第一期生

平成30年度 北信がんプロの活動状況



10年間(2期)実施してきた「北陸がんプロ」が2017年度から「超少子高齢地域での先進的がん医療人養成」(北信がんプロ)と名称を改めてスタートしました。北信がんプロでは、北陸3県(石川県、福井県、富山県)に加え、長野県が参加し、がんゲノム医療、小児がん、希少がん、AYA(Adolescent and Young Adult)世代や高齢者等のライフステージに応じたケアに対応できる医療従事者の養成を目指しています。本学の北信がんプロでの役割は、がん医療における看護実践者の育成やがん看護における知識・技術の育成です。今年度は、これまでのテレビシステムにおける事例検討会やリンパケア研修(基礎編・応用編)に加え、「がんゲノム医療を理解し現場に活かそう」と題した公開講演を企画しました。がんはふたりにひとりが罹患すると言われ、現在死因の第1位です。しかし、ゲノム医療の発展にともない、がんは早期発見をすれば治る病気になってきています。看護師が今以上に最新のがん医療について理解を深め、正しいアセスメントができるよう今後もさまざまな企画を考えていきます。

石川県立大学との合同事業

農福連携いしかわ型ヒツジ飼育事業を開始しました

本事業は本学教員による、地域で生活する精神・知的障害のある方への就労定着のための支援技術と石川県立大学で進めている耕作放棄地での放牧によるヒツジ生産事業「石川ラム」で培ったヒツジの育成から食肉加工までのノウハウを、福祉事業所での就労支援活動内容に組み込むことを通して、利用者(障害のある方)の就労に向けた意欲や技術の向上を図ることを目的に実施しています。本事業開始に向けて6月14日(金)能登町にある就労継続支援B型事業所にてヒツジの贈呈式を実施しました。この事業を通して「人手が足りない農業」と「働く場の確保と賃金の向上を求める福祉」が結びついた「農福連携いしかわ型ヒツジ飼育事業」プログラムを看護大学と県立大学の共同研究にて開発し、効果を検証していく予定です。



「能登・祭りの環」インターンシップ事業

「矢波諏訪祭」に参加しました!



能登キャンパス構想推進協議会による「能登・祭りの環」インターンシップ事業が今年も実施されました。本学は8月15日(水)～16日(木)に能登町矢波で開催された「矢波諏訪祭」を担当し、市丸講師が県内5大学19名の学生を引率しました。本学からは1～3年の合計9名が参加し、あいにくの雨に見舞われながらも元気にキリコを担ぎ、地元の方や学生同士の交流を深めました。「初めて参加させてもらい、重いキリコを担げるのか不安はありましたが、地域の方々が優しく声をかけてくれて一緒に楽しめました。能登祭りの文化について学び、とても良い経験になりました。(3年 大岡未咲)」



第39回日本看護科学学会学術集会 石川県金沢市で開催! 本学 石垣和子学長が学術集會会長に

日本の看護界最大規模の会員数を誇る公益社団法人日本看護科学学会(JANS)の第39回学術集会(会長 石垣和子)を、2019年11月30日(土)・12月1日(日)の両日にかけて石川県立音楽堂を主会場に開催することになりました。

メインテーマを「^{ひと}ヒトと人間の科学を看護へ～時空を超える我々を知り、看護学を別次元へ発展させよう～」とし、急速に進歩しているヒトの科学をよく知り、看護学においても目の前の人間への理解を異なる角度からも深めよう!ということ提言したいと考えています。看護のあらゆる分野に新たな看護研究や看護実践が鳴動し始めるのではないかと思います。ヒトから人間へと進化を遂げてきた私たちの生命力の不思議と素晴らしさについて会長講演や特別講



石垣和子 学長



主会場の石川県立音楽堂

演、シンポジウム等で討論を深め、看護を新たな次元へと発展させられるよう石川から発信したいと思います。

10/27(土)・28(日) 大学祭 開催!

theme 「笑顔でつながる、いつまでも」

楽しい催し物を数多く企画中!

平成30年度大学祭実行委員長を務めています、尾角新太です。

今年は「笑顔でつながる、いつまでも」というテーマで大学祭を開催します。このテーマには、大学祭を通して学生・地域の方々・大学祭参加者がつながりを持ち、笑顔で大学祭を楽しんでほしい、という思いがこめられています。皆様とともに大学祭を笑顔で過ごしたいと考え、子どもから大人まで大学祭を楽しんでもらえるような催し物を数多く企画しています。皆様のご参加をお待ちしております。



平成30年度 キャンパススケジュール 後期



授業開始	10月 1日(月)
大学祭(看大祭)	10月 27日(土) ~ 10月 28日(日)
秋のオープンキャンパス	10月 27日(土)
冬季休業	12月 22日(土) ~ 1月 6日(日)
補講・試験	2月 8日(金) ~ 2月 20日(水)
春季休業	2月 21日(木) ~
卒業式・学位授与式	3月 16日(土) 予 定

石川県公立大学法人

石川県立看護大学 看護学部看護学科 大学院看護学研究科
 ISHIKAWA PREFECTURAL NURSING UNIVERSITY

〒929-1210 石川県かほく市学園台1丁目1番地 TEL 076-281-8300 FAX 076-281-8319
 URL <http://www.ishikawa-nu.ac.jp> e-mail office@ishikawa-nu.ac.jp

著作権は石川県公立大学法人に帰属します

 **リサイクル適性**  この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。